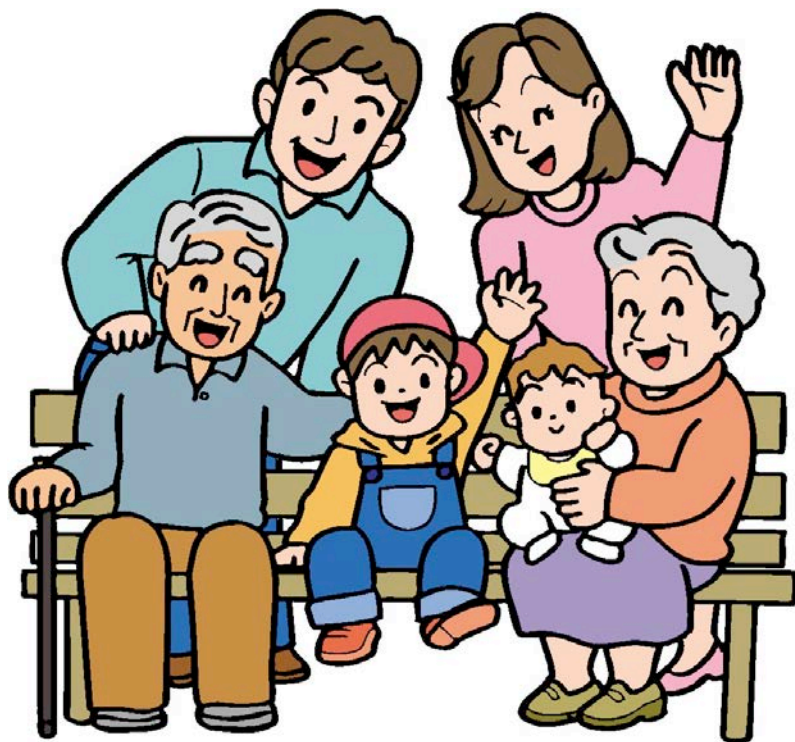


平成28年度予算概要

「安全・安心」「魅力」「健康」

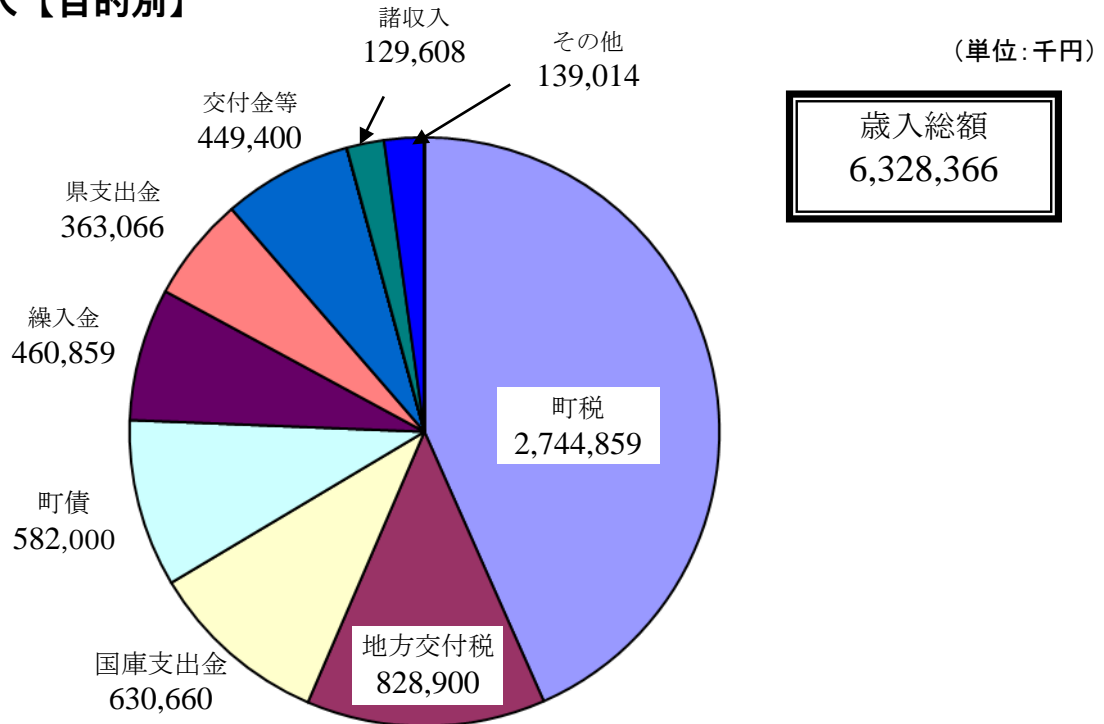


酒々井町

I 平成28年度の一般会計予算

平成28年度の一般会計の歳入歳出の予算を円グラフと表で現し、平成27年度の当初予算額との比較をしています。歳出は、目的別（表2：使用する目的別）と性質別（表3：使用する性質別）の2表で比較しました。

1. 歳入【目的別】



平成28年度一般会計予算歳入（表1）の主な内容については、次のとおりです。

歳入総額は、63億2,836万6千円となり、対前年度比3億3,736万1千円、5.6%の増加となりました。

町税については、個人住民税が景気の緩やかな回復基調を受け微増となり、法人町民税や固定資産税などは南部地区への企業進出により増加を見込んだことから、対前年度比8,651万8千円、3.3%増の27億4,485万9千円を見込みました。

地方譲与税及び各種交付金については、地方消費税交付金の大幅な増を見込んだことから、交付金等全体で対前年度比1億4,450万円、47.4%増の4億4,940万円を見込みました。

地方交付税については、国の予算総額の減少と町税をはじめとする自主財源の増加による影響から、対前年度比6,080万円、6.8%減の8億2,890万円を見込みました。

国庫支出金については、子ども・子育て関係経費などの社会保障経費の増加により、対前年度比5,302万1千円、9.2%増の6億3,066万円となりました。

県支出金については、役場分庁舎の太陽光発電施設整備が完了したことによる公共施設再生可能エネルギー導入補助金の減額などにより対前年度比338万円、0.9%減の3億6,306万6千円となりました。

繰入金については、酒々井ちびっこ天国基金等からの繰入が減少したものの、財源調整となる財政調整基金からの繰入が増加したため、対前年度比3,387万5千円、7.9%増

の4億6,085万9千円となりました。

繰越金は、厳しい財政事情の中、歳出額を精査して最小限の予算としているため、前年度の歳計剰余金（前年度会計で余った資金）を前年度と同様に6,000万円程度と見込み、繰越金を3,000万円としています。〔歳計剰余金の2分の1以上は、財政調整基金に積み立てることとなっています。〕

町債については、役場分庁舎建設事業分が減少したものの、子ども・子育て支援施設建設事業や防災行政無線整備事業の増加により対前年度比9,220万円、18.8%増の5億8,200万円となりました。

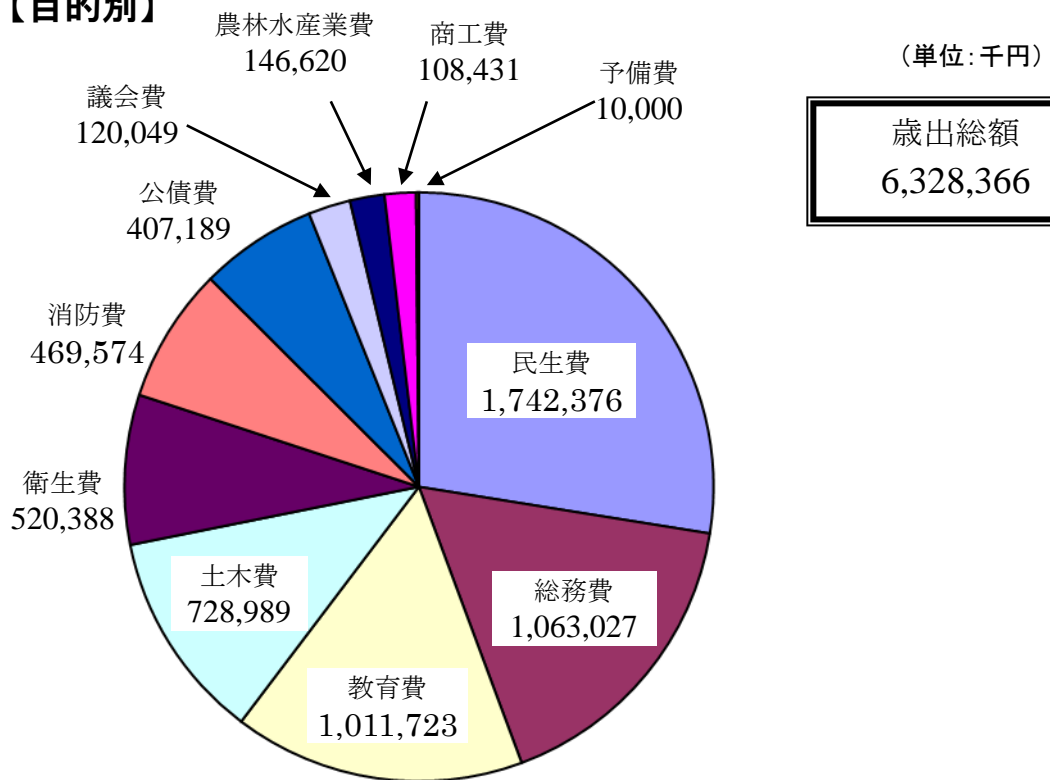
なお、地方消費税の税率引き上げ（平成26年4月～）の増収分は、全額社会保障費の財源に充当することになっています。

表1 平成28年度一般会計 歳入（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成28年度 当初予算額	構成比	平成27年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 町 税	2,744,859	43.4	2,658,341	44.4	86,518	3.3
2 地 方 譲 与 税	57,700	0.9	61,900	1.0	△ 4,200	△ 6.8
3 利 子 割 交 付 金	3,500	0.1	5,200	0.1	△ 1,700	△ 32.7
4 配 当 割 交 付 金	18,700	0.3	12,100	0.2	6,600	54.5
5 株式等譲渡所得割交付金	4,700	0.1	4,300	0.1	400	9.3
6 地方消費税交付金	338,000	5.3	195,400	3.3	142,600	73.0
7 自動車取得税交付金	12,300	0.2	11,000	0.2	1,300	11.8
8 地方特例交付金	10,600	0.2	11,400	0.2	△ 800	△ 7.0
9 地 方 交 付 税	828,900	13.1	889,700	14.9	△ 60,800	△ 6.8
10 交通安全対策特別交付金	3,900	0.1	3,600	0.1	300	8.3
11 分担金及び負担金	56,024	0.9	62,600	1.0	△ 6,576	△ 10.5
12 使用料及び手数料	45,454	0.7	44,580	0.7	874	2.0
13 国 庫 支 出 金	630,660	10.0	577,639	9.6	53,021	9.2
14 県 支 出 金	363,066	5.7	366,446	6.1	△ 3,380	△ 0.9
15 財 産 収 入	7,334	0.1	7,016	0.1	318	4.5
16 寄 付 金	202	0.0	202	0.0	0	0.0
17 繰 入 金	460,859	7.3	426,984	7.1	33,875	7.9
18 繰 越 金	30,000	0.5	30,000	0.5	0	0.0
19 諸 収 入	129,608	1.9	132,797	2.2	△ 3,189	△ 2.4
20 町 債	582,000	9.2	489,800	8.2	92,200	18.8
合 計	6,328,366	100.0	5,991,005	100.0	337,361	5.6

2. 歳出【目的別】



平成28年度一般会計予算歳出(表2)の主な内容については、次のとおりです。

歳出の総額は、歳入と同額の63億2,836万6千円となり、対前年度比3億3,736万1千円、5.6%の増加となりました。

議会費は、議員共済費負担率の減により、対前年度年比1,016万4千円、7.8%減の1億2,004万9千円となりました。

総務費については、防災行政無線(同報系)整備工事1億1,980万1千円、役場東庁舎解体撤去等工事3,818万9千円、防災資機材等備蓄施設整備工事1,665万5千円、防犯ボックス設置工事400万円などの増加、また、役場分庁舎建設及び太陽光発電設備設置関連経費2億2,001万5千円などの減少により対前年度比3,065万9千円、2.8%減の10億6,302万7千円となりました。

民生費については、新規に行うファミリーサポートセンター事業や子育て支援施設整備事業など子ども・子育て支援事業2,239万1千円、酒々井小学校放課後児童クラブ室改修工事2,320万3千円、100年安全・安心に住めるしすいづくり事業531万円、障害者等に係る介護給付費・訓練等給付費1,328万9千円、国民健康保険特別会計繰出金2,437万7千円、介護保険特別会計繰出金1,279万6千円、後期高齢者医療事業1,535万3千円の増加などにより対前年度比1億5,258万8千円、9.6%増の17億4,237万6千円となりました。

衛生費については、子ども医療費助成事業186万6千円、健康増進事業106万4千円、じん荼処理事業1,843万1千円、清掃組合負担金1,618万3千円の増加などにより対前年度比2,236万5千円、4.5%増の5億2,038万8千円となりました。

農林水産業費については、農業基盤整備事業3,477万1千円の増加などにより対前年度比4,294万3千円、41.4%増の1億4,662万円となりました。

商工費については、観光事業328万8千円、酒々井ちびっこ天国運営事業583万4千円の減額、また、コミュニティプラザ改修設計業務600万円増加などにより対前年度比151万9千円、1.4%増の1億843万1千円となりました。

土木費については、国の補助事業として社会資本総合交付金を活用した道路維持事業7,500万円、単独事業である道路改良事業2,427万9千円、街区公園整備事業2,284万8千円、さらに、新規事業としての空家対策事業875万円、定住促進事業500万円、下水道事業への繰出経費325万1千円の増加などにより対前年度比1億1,943万2千円、19.6%増の7億2,898万9千円となりました。

消防費については、酒々井消防署用地購入費2,440万円、消防組合負担金1,081万6千円の増加により対前年度比3,010万8千円、6.9%増の4億6,957万4千円となりました。

教育費については、本佐倉城跡入口広場整備工事2,655万8千円、酒々井小学校法面復旧工事1,620万円などが減少し、また、中学校グラウンド整備事業2,810万7千円やまちな顔づくり推進事業892万6千円の増加などにより、対前年度比483万1千円0.5%増の10億1,172万3千円となりました。なお、中央公民館耐震補強工事費は前年度同額の6,680万円となっています。

公債費については、臨時財政対策債の償還額の増加などから対前年度比439万8千円、1.1%増の4億718万9千円となりました。

表2 平成28年度一般会計 歳出（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成28年度 当初予算額	構成比	平成27年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 議会費	120,049	1.9	130,213	2.2	△ 10,164	△ 7.8
2 総務費	1,063,027	16.8	1,093,686	18.3	△ 30,659	△ 2.8
3 民生費	1,742,376	27.5	1,589,788	26.5	152,588	9.6
4 衛生費	520,388	8.2	498,023	8.3	22,365	4.5
5 農林水産業費	146,620	2.3	103,677	1.7	42,943	41.4
6 商工費	108,431	1.7	106,912	1.8	1,519	1.4
7 土木費	728,989	11.5	609,557	10.2	119,432	19.6
8 消防費	469,574	7.4	439,466	7.3	30,108	6.9
9 教育費	1,011,723	16.1	1,006,892	16.8	4,831	0.5
10 公債費	407,189	6.4	402,791	6.7	4,398	1.1
11 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
合計	6,328,366	100.0	5,991,005	100.0	337,361	5.6

表3 平成28年度一般会計 歳出（性質別）

（単位：千円、％）

項目	平成28年度 当初予算額	構成比	平成27年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率	
1 人件費	1,462,450	23.1	1,421,099	23.7	41,351	2.9	
2 扶助費	805,400	12.7	765,122	12.8	40,278	5.3	
3 公債費	407,189	6.5	402,791	6.7	4,398	1.1	
義務的経費小計	2,675,039	42.3	2,589,012	43.2	86,027	3.3	
4 物件費	1,161,270	18.4	1,111,131	18.5	50,139	4.5	
5 維持補修費	14,478	0.2	14,196	0.2	282	2.0	
6 補助費等	901,032	14.2	875,613	14.6	25,419	2.9	
経常的経費小計	4,751,819	75.1	4,589,952	76.6	161,867	3.5	
7 普通建設事業費	991,029	15.7	852,544	14.2	138,485	16.2	
内訳	補助事業費	459,155	7.3	406,020	6.8	53,135	13.1
	単独事業費	531,874	8.4	446,524	7.5	85,350	19.1
8 積立金	21,362	0.3	31,128	0.5	△ 9,766	△ 31.4	
9 投資及び出資金	15,587	0.2	9,614	0.2	5,973	62.1	
10 貸付金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0	
11 繰出金	535,569	8.5	494,767	8.3	40,802	8.2	
12 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0	
合計	6,328,366	100.0	5,991,005	100.0	337,361	5.6	

性質別歳出（表3）を見ると、経常的経費のうち扶助費については、子ども医療費や障害者等に係る介護給付費・訓練等給付費が増加し、また、職員給与改定に伴う人件費が増加、さらに、公債費は、臨時財政対策債の償還が増加したことなどから、義務的経費は対前年度比8,602万7千円、3.3%増の26億7,503万9千円となりました。

物件費については、分庁舎建設に伴う備品購入費等が減少したものの、臨時職員賃金や各種委託業務費が大きく増加したことで対前年度比5,013万9千円、4.5%増の11億6,127万円となりました。

補助費等は、消防組合、清掃組合などの一部事務組合負担金の増加により対前年度比2,541万9千円、2.9%増の9億103万2千円となりました。

普通建設事業費については、役場庁舎関係工事費が減少したものの、防災行政無線(同報系)整備工事、国の補助事業として社会資本総合交付金を活用した道路維持事業、単独事業である道路改良事業、街区公園整備事業の増加から、対前年度比1億3,848万5千円、16.2%増の9億9,102万9千円となりました。

積立金については、農業基盤整備事業基金積立金の減少により、対前年度比976万6千円、31.4%減の2,136万2千円となりました。

繰出金については、国民健康保険や介護保険等への繰出金の増加から対前年度比4,080万2千円、8.2%増の5億3,556万9千円となりました。

II 各特別会計

各特別会計の予算状況は次のとおりです。各特別会計ともに増加していますが、特に国民健康保険特別会計は、保険給付費の増により大きく増加しています。

(単位:千円、%)

特別会計名	平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	3,029,536	2,924,531	105,005	3.6
介護保険特別会計	1,210,127	1,133,359	76,768	6.8
後期高齢者医療特別会計	218,499	187,776	30,723	16.4
計	4,458,162	4,245,666	212,496	5.0

III 水道事業会計

水道事業会計は次のとおりです。独立採算制で経営されており、経営努力により経費の削減を図っていますが、今後施設等の老朽化から資本的支出の増加が見込まれます。

(単位:千円、%)

企業会計収支	平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比較増減	伸率
水道事業収益	567,865	565,088	2,777	0.5
営業収益	492,723	491,265	1,458	0.3
営業外収益	75,142	73,823	1,319	1.8
水道事業費用	555,894	551,736	4,158	0.8
営業費用	512,942	504,779	8,163	1.6
営業外費用	40,952	44,957	△ 4,005	△ 8.9
特別損失	0	0	0	0.0
予備費	2,000	2,000	0	0.0
資本的収入	5,876	5,509	367	6.7
分担金及び負担金	5,876	5,509	367	6.7
資本的支出	271,446	468,101	△ 196,655	△ 42.0
建設改良費	161,370	362,391	△ 201,021	△ 55.5
企業債償還金	108,076	103,710	4,366	4.2
予備費	2,000	2,000	0	0.0

IV 下水道事業会計

下水道事業は、平成26年度から地方公営企業法の一部（財務規定）を適用し、企業会計方式の会計に変更されました。

（単位：千円、％）

企業会計収支	平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	比較増減	伸率
下水道事業収益	346,737	360,430	△ 13,693	△ 3.8
営業収益	287,283	285,740	1,543	0.5
営業外収益	59,454	74,690	△ 15,236	△ 20.4
下水道事業費用	441,544	455,031	△ 13,487	△ 3.0
営業費用	407,666	418,658	△ 10,992	△ 2.6
営業外費用	32,878	35,373	△ 2,495	△ 7.1
特別損失	0	0	0	0.0
予備費	1,000	1,000	0	0.0
資本的収入	89,891	60,704	29,187	48.1
企業債	19,800	13,600	6,200	45.6
補助金	69,778	46,791	22,987	49.1
負担金及び分担金	303	303	0	0.0
その他資本的支出	10	10	0	0.0
資本的支出	210,278	156,060	54,218	34.7
建設改良費	127,730	73,034	54,696	74.9
企業債償還金	81,482	81,960	△ 478	△ 0.6
その他資本的支出	66	66	0	0.0
予備費	1,000	1,000	0	0.0

V 町のローン残高（地方債の状況）

町債は、主に道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金です。

過去の借金の返済は進んでいますが、近年は町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

（単位：千円）

会計名	平成27年度末見込額	平成28年度中の増減	平成28年度末見込額
一般会計	5,090,460	226,853	5,317,313
水道事業会計	847,961	△ 108,076	739,885
下水道事業会計	936,413	△ 61,682	874,731
計	6,874,834	57,095	6,931,929

VI 町の貯金残高（基金残高）

基金は、町が予算を編成する際の財源補てんや特定の目的のために積み立てている貯金です。個人で例えると財形貯蓄、住宅積立金、学資積立金などに当たり、後年度の資金需要や財源不足に備えるためのものです。

【一般会計】

（単位：千円）

基金名称	平成27年度末 見込額	平成28年度中 増減見込額	平成28年度末 見込額
1. 財政調整基金	1,026,802	△ 374,776	652,026
2. 減債基金	40,663	12	40,675
3. 都市開発基金	33,977	27	34,004
4. 地域福祉基金	112,117	35	112,152
5. 児童・生徒国際交流振興基金	22,851	△ 1,285	21,566
6. ちびっこ天国基金	183,060	△ 1,686	181,374
7. 農業基盤整備基金	135,956	10,102	146,058
8. 東日本大震災復興基金	10,360	△ 3,593	6,767
9. 社会資本等整備基金	100,114	61	100,175
10. ふるさと基金	200	200	400
11. 土地開発基金	661	72,271	72,932
計	1,666,761	△ 298,632	1,368,129

【国民健康保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成27年度末 見込額	平成28年度中 増減見込額	平成28年度末 見込額
1. 財政調整基金	212,341	△ 67,114	145,227
2. 高額療養費貸付基金	3,000	0	3,000
計	215,341	△ 67,114	148,227

【介護保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成27年度末 見込額	平成28年度中 増減見込額	平成28年度末 見込額
1. 介護給付費準備基金	240,794	△ 21,042	219,752

【下水道事業会計】

（単位：千円）

基金名称	平成27年度末 見込額	平成28年度中 増減見込額	平成28年度末 見込額
1. 下水道事業基金	86,906	△ 34	86,872

※平成27年度末見込額は、平成28年度予算編成時点での見込額となりますので、実際の基金額とは異なる場合があります。

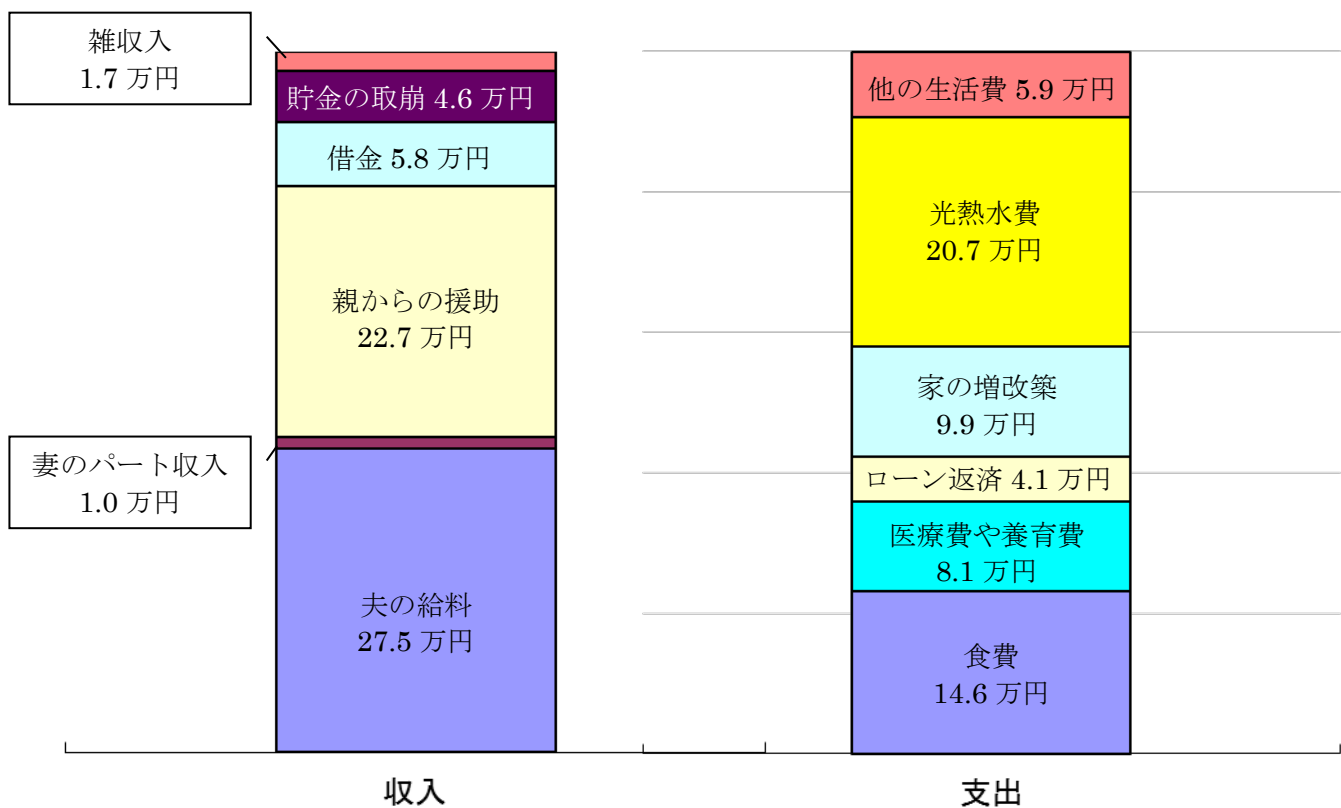
VII 平成28年度の酒々井さん家の家計

平成28年度一般会計の予算案について、1億円を1万円に置き換えてひと月の家計のやりくりに例えてみました。(1か月の家計63万3千円)

酒々井さんの月収(町税収入)は27万5千円で、昨年度から9千円の給料アップとなりそうです。そして、奥さんのパート収入(施設使用料、手数料など)は1万円ではほぼ同額ですが、親からの援助(交付税、国・県補助金など)は22万7千円で、昨年度から1万3千円増えることになりそうです。不足分は、貯金の取り崩し(基金繰入金など)、さらに借金(町債)をして家計をやりくりしています。

一方、支出において、光熱水費はほぼ同額ですが、食費(給料、報酬などの人件費)は昨年度から4千円、医療費や養育費(医療費助成や児童手当などの扶助費)も4千円増え、さらに、家の老朽化による増改築費(道路などの建設改良費)は1万4千円増えることになり、家計のやりくりは昨年同様大変になりそうです。

過去の借金(町債残高)は50万9千円から2万3千円増えて53万2千円になる見込みですが、昨年とほぼ同額の4万1千円の返済になる見込みです。



VIII 平成28年度の国から町への財源補てん（親からの援助）

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、地方の固有財源として地方交付税が配分されています。しかしながら、国の三位一体の改革などによって地方交付税の一部が「減税補てん債（平成18年度をもって制度廃止）」や「臨時財政対策債」などの借入金に振り替えられています。

平成28年度の国からの財源補てんについて、地方交付税と臨時財政対策債への振替などにより、10億7,900万円を見込んでいます。

町税などの自主財源が増加傾向にあることから、国からの補てん額の総額は減少傾向にあります。

国からの財源補てんの推移

単位：百万円

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
普通交付税	623	698	771	897	1,005	998	957	819	835	739
特別交付税	79	103	110	124	150	167	143	152	90	90
減税補てん債										
臨時財政対策債	235	220	321	427	390	389	390	315	255	250
計	937	1,021	1,202	1,448	1,545	1,554	1,490	1,286	1,180	1,079

※ 平成19年度から平成26年度までは決算額で、平成27年度は決算見込額、平成28年度は予算額です。